

## 笑顔をつなぐバウムクーヘン

私がロータリークラブに入会させていただいたのは、2023年1月のことです。

入会して耳にした「職業奉仕」という言葉は、まるで哲学書のタイトルのようにでした。でも先輩方のお話を聞くうちに「なんだかすごく温かいことばだな!」と感じるようになりました。

13年前に主人を病気で亡くし1男2女の母として、子育てと仕事の両立に奮闘してまいりました。そんな中、2022年3月。異業種から思い切って山形県初のバウムクーヘン専門店をオープンいたしました。

山形県が誇る「つや姫」米粉100%のグルテンフリー、そして地元の平飼い鶏卵を使った「ふわふわくるくる心が舞い上がるバウムクーヘン!」。嬉しくって、おいしくって、思わず小躍りしてしまうようなバウムクーヘンを作っています。焼きあがったバウムを見るたび「今日もふわふわねえ」と、我が子を見守るような気持ちになります。

昔から人に「天然だね」と言われることが多く、本人はいたって真剣なのですが周りから見るとちょっと変わった人に映るようです。そのおかげなのか、お店でも初めてのお客さんと自然に話が弾み、「なんだか元気が出たわ」と笑顔で帰っていただくこともあります。私が何をしたわけでもないのに、ただの天然が誰かの心を和らげることもあるのだと、最近は少し開き直っています(笑)。

ロータリーに入って知ったのは、職業奉仕とは「特別な人だけが行う大きなこと」ではなく、日々の仕事や振る舞いを通して誰かを喜ばせる、小さな積み重ねのことだということです。バウムクーヘンという小さなお菓子でも、贈り物となって人と人をつなぎ、遠くの家族の元へ届いて故郷を思い出すきっかけになったり、誰かの「今日ちょっと頑張ったご褒美」になったりします。そう考えると、この仕事にもちゃんと奉仕の心が宿っているのだと気づかされました。これからは、心がふわっと軽くなり思わず小躍りしたくなるようなそんなバウムクーヘンをお届けしていきたいと思います。

そしてロータリーの一員として明るさと素直さを大切にしながら職業を通じて地域に貢献し、笑顔の輪を広げていきたいと思っています。

小さな店から生まれる幸せの輪が、やがて地域全体に広がっていくことを願っています。また次世代に良い影響を少しでも与えられるようにこれからも一歩ずつ、心をこめて歩んでいきたいと思っています。

これが私の目指す職業奉仕の形です。